

# 令和6年度事業計画書

2024年7月1日から2025年6月30日まで9期目

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

## 1 事業活動方針

「こどもたちには、サードプレイスを 大人たちには、子どもたちと出会える場を」をテーマに、横浜市鶴見区に根差した活動に取り組んでいく。地域に暮らす子どもたちがより豊かで充実した日々を過ごし、困りごとを抱えひとりぼっちで置きざりされないことを目指し、家庭や学校以外のサードプレイス(第3の居場所)づくり、大人と子どもが出会う機会づくり、地域まちづくりの取り組みを実施していく。また、子どもたち自身が「生き抜くチカラ」を身に着けられるよう、子どもたちが主体となり体感・体験・学習に関する参加だけでなく参画できる事業をおこなう。

鶴見区内で横浜型児童家庭支援センターの運営や鶴見区寄り添い型生活支援事業の委託など、重要な子ども支援の役割を担っている責務を自覚し、事業運営だけでなく地域への貢献や信任に込められるよう一層の努力をしていく。

こども家庭支援の充実や子どもの貧困、虐待防止などの社会課題にも取り組んでいく。鶴見区内の社会資源を活用し有機的なネットワークを構築することで、切れ目のない支援を目指す。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 子どもの発達における総合支援事業

##### ア 子どものたち居場所づくり事業

- ・内 容 子どもたちの居場所づくりの実施及び活動をおこなう団体の取り組み支援  
公共施設での子どもたちの居場所づくり:地区センカフェ  
公立中学校内での放課後学習支援  
高校生のためのスペース:「つみれ自習室」
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区内
- ・従事者人員 5人・ボランティア 20名
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 1,205,000円

##### イ 児童家庭支援センターつるみらいの運営

- ・内 容 横浜型児童家庭支援センターの鶴見区運営法人として、事業を適切に運営し、地域生活を支える専門機関として、子どもたちや家庭が地域で孤立をしないよう関係機関と連携を取り合い、日々の生活に寄り添っていく。また、子育て短期支援事業の有用性を生かし、子ども自身の思いに焦点を当て、どんなに小さな声も取りこぼすことがないよう寄り添い、子どもの安心安全、成長につながる支援をしていく。地域資源を活用し、支援の手が必要なところに届くサポートを充実させるため、他機関他事業とも連携しながらソーシャルワークを実践していく。

- ・日 時 通年
- ・場 所 児童家庭支援センターつるみらい(横浜市鶴見区内鶴見中央)
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子ども・保護者・里親等
- ・支出見込額 32,978,880円

#### ウ 鶴見区寄り添い型生活支援事業つるみ元気塾の運営

- ・内 容 鶴見区寄り添い型生活支援事業を鶴見区から受託し、事業を適切に運営する。子どもたちの居場所でもあり自立に向けた習慣づくりや学習などをおこなっていく。家庭の経済状況により生じている子どもの学校外でのスポーツや文化・芸術活動などの「体験機会」の格差を、日々の活動やイベント企画などを通してなくしていくようにする。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つるみ元気塾(横浜市鶴見区本町通)
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子ども・保護者
- ・支出見込額 15,268,000円

#### エ 講演・啓発事業

- ・内 容 子どもの居場所、貧困対策、虐待防止、多文化共生、社会貢献教育の推進等に関する啓発、講演会、研修会等への開催および登壇
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の大人たち
- ・支出見込額 300,000円

#### オ 子どもの体感・体験・学習イベント

- ・内 容 子どもの職業、自然、文化体験イベントの実施および協力  
つるみ子育て・個育ちフォーラム運営委員会
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区ほか
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 50,000円

### ② 地域資源の調査・研究・開発事業

#### ア 地域活動交流拠点 230cafe の運営

- ・内 容 運営を根本から見直し、学びや発信の場や活動者の交流の場などの機能を持てるよう、法人内の事業とも連動させながら場の活用をおこなう。

- ・日 時 通年
- ・場 所 230cafe(横浜市鶴見区鶴見中央)
- ・従事者人員 3人 ボランティア 6人
- ・受益対象者 主に横浜市鶴見区内にお住いの方
- ・支出見込額 2,520,000円

#### イ 新規事業の企画立案

- ・内 容 児童家庭支援センターつるみらいや鶴見区寄り添い型生活支援事業つるみ元気塾の運営から見てきた地域や子どもたちの課題やニーズに対し、解決方法の模索やニーズに対応できる新しい事業の企画を検討する。その運営のための助成金の調査や寄付等のファンドレイジングをおこなっていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 2人
- ・支出見込額 50,000円

#### ウ ひとり親支援事業

- ・内 容 これまで続けてきたひとり親世帯向けの食料品配達を拡充し、ニーズ把握やアセスメントの実施をより深く対応できるように相談体制を強化していく。また、昨年中にニーズのあったひとり親世帯の登校渋りや不登校への支援が作れるよう、あらためてのニーズ調査やヒアリングを実施する。ひとり親世帯の子どもたちの相談、居場所、交流、学習等の支援を提供する。
- ・日 時 相談対応 随時  
食料品配達 月 1~2回  
子どもたちの相談、居場所、交流、学習等 週 1回
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち、大人たち
- ・支出見込額 2,550,000円

#### エ 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業サービスB通所型)

- ・内 容 地域のご高齢者の外出の機会、身体機能維持のための介護予防、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)を実施。横浜市通所型支援:体操・運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的な交流、サロン、会食等
- ・実施時期 通年
- ・場 所 230cafe(横浜市鶴見区鶴見中央)
- ・従事者人員 2人、ボランティア 2人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区の要支援者等を中心とした高齢者
- ・支出見込額 1,800,000円